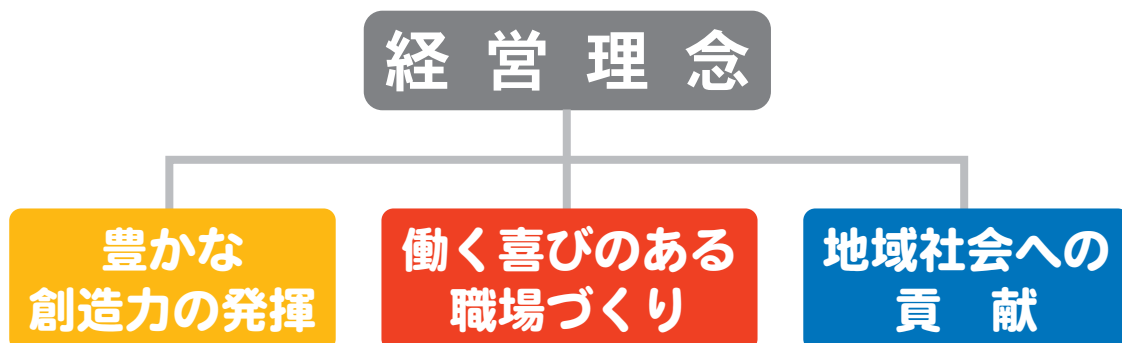


事業方針及び概況

経営理念



いわしんは相互扶助を基本理念に設立され、『地域社会への貢献』を使命として、これまで蓄積してきた信頼と実績を基盤に、効率経営に徹しながら経営の安定化に尽力しています。多様化するニーズを的確に捉え、心から満足していただけるサービスを提供していく為にも職員一人ひとりの『豊かな創造力の発揮』が不可欠であり、より良い商品の開発・提供に努めなければなりません。

その為の自己啓発を促す教育制度を整備しています。こうした方針や施策も、職員一人ひとりの業務に対する意欲がなければ、実効性あるものにはなりません。地元雇用を基本として、きめ細やかな福利厚生制度の確立による高い定着率を維持し、『働く喜びのある職場づくり』のため職員個々が、自ら考え行動する風土・伝統となるよう力を注いでいます。

経営方針

地域の皆様から揺るぎない信頼を得るため、法令遵守と高い企業倫理の確立が重要であるとの下、役職員一人ひとりが人格・教養を更に高め、良質な金融サービスを通して、地域の発展とお客様の豊かな暮らしづくりのため、自ら考え、行動する活力ある組織をつくる。

平成19年度の業績

◆預 金

年金受給者の増強及び定期性預金の増強を主体として推進しました結果、個人預金を中心に順調な増加をみることができ、期末残高1,342億25百万円（前期末比2.31%増）、期中平均残高1,328億52百万円（前期末比1.06%増）となりました。

◆貸 出 金

融資増強の主力として個人向け融資（消費者ローン・住宅ローン）の他、法人向け融資も新規先開拓中心に推進を図ることができ、期末残高977億91百万円（前期末比2.35%増）、期中平均残高943億2百万円（前期末比6.67%減）となりました。

◆損 益

収益力強化及び資産の健全化を経営の柱として営業推進し、資産査定における償却・引当金の計上もありましたが、融資増強・余資運用増加による収益強化の結果、当期純利益は2億77百万円となりました。

主要な経営指標の推移

（単位：千円）

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
経 常 収 益	3,578,931	3,621,398	3,977,046	3,940,332	3,834,781
経 常 利 益(損失)	416,868	260,143	922,950	△2,321,945	305,044
当期純利益(損失)	274,958	121,664	421,184	△3,006,790	277,518
預 金 積 金 残 高	127,204,484	129,555,021	130,820,155	131,187,763	134,225,478
貸 出 金 残 高	98,326,749	99,873,976	101,064,738	95,540,389	97,791,646
有 価 証 券 残 高	9,846,037	10,321,002	8,776,352	7,370,156	8,050,016
総 資 産 額	136,615,105	138,839,931	140,226,978	138,567,910	142,137,961
純 資 産 額	7,170,509	7,291,767	7,709,435	5,660,454	6,300,830
自己資本比率(単体)	8.37%	8.35%	8.78%	6.75%	7.34%
出 資 総 額	2,358,211	2,329,193	2,450,576	3,472,661	4,021,429
出 資 総 口 数	4,716,422口	4,658,386口	4,901,152口	6,945,322口	8,042,859口
出資に対する配当金	47,205	47,102	47,390	53,397	71,978
職 員 数	237人	226人	223人	218人	213人

(注) 残高計数は期末日現在のものです。